

子どもたちと寒川の未来をつなごう ～さらに先の50年へ～
『応援しよう 寒川の子どもたち』事務所:〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山7番地 サンワビル2F
TEL 0467(73)0046 FAX 0467(74)0027
例会場:寒川神社参集殿 例会日:月曜日 18:30

会長 中野雅之 幹事 下里宏規

会報委員(クラブ管理運営委員会)

中村 靖 井上 稔 石腰 亮 遠藤弘美
菊地良夫 椎谷敏行 鈴木郁男 帆刈 智

第2365回例会 2026年8月17日(月) くもり時々晴れ

司会 石丸副幹事

合唱「手に手つないで」 ソングリーダー:遠藤クラブ管理運営委員

メイクアップ【本日分】 藤会員(Rの泉清掃)

ゲストスピーカー 田中賢三パストガバナー(茅ヶ崎RC)

会長の時間 中野会長

皆さんこんばんは、本日は茅ヶ崎RC田中賢三PGをお迎えしての例会となります。田中PG、後ほど卓話をよろしくお願いします。タイトルは「Enjoy Rotary 幸せの条件」。楽しみにしています。さて、今年のお盆は台風の影響で予定を変更された方もいたのではないかと思います。今回の台風はこれまた新しい言葉で「逆走台風」と言うそうで、珍しい動きで千葉県を中心に大きな被害が出ました。線状降水帯は九州の方で起こりやすいものだと思っていたら、千葉県という割と身近なところで発生していて、ちょっとずれば神奈川県も他人事じゃないなあとと思うと怖くなってきました。災害の怖さを改めて身近に感じた台風でした。長いお盆の休み明けと言う事で、今日からいきなり仕事モードに切り替えるというのは大変なことだと思います。私自身もまだ本調子ではないような感じでここに立たせてもらっているというのが正直な気持ちです。皆さんもいろいろな形でお盆休みを過ごされたことと思いますが、私は8月15日寒川RCの

会長として寒川神社の薪能にご招待いただき、見に行っていましたので報告させていただきます。今回は、下里幹事の計らいで、開演前に出演される鎌倉RCのメンバーでもある中森寛太さんの楽屋へご挨拶に行くことができました。出演前のお忙しい時間にお話しさせてもらったので、これはしっかり見なくてはいけないと思い、入り口でいただいた冊子の解説と本日の見どころなど一通り目を通していたので大まかなあら筋はわかったのですが、しゃべっている言葉が難しすぎてわからないところがほとんどでした。わかりやすく字幕スーパーでも舞台袖で流れてくれたりすれば、もっと楽しめるのかなとも感じました。時代と共に近い将来そういう工夫もされていくのではないかと思います。そんな中でも、寒川神社の境内で薪にともされた舞台での舞は厳かで神秘的なものがありました。このような長い歴史の中で受け継がれてきた伝統を、守るだけでなく次の時代へとつないでいく事に大きな意義があると言う事を学ん

出席報告

会員数	出席計算会員数	出席会員数	暫定出席率
33名	33名	28名	84.85%
本日欠席者	秋本会員、鈴木正秋会員、中村光良会員、山本哲会員、吉田会員		

できました。暑さはまだまだ続くと思いますが、無理を
すると体調を崩しやすい時期でもありますので、しっか
り水分補給を忘れずに熱中症対策をしながら、今週も
素晴らしい一週間をお過ごしください。これで会長の
時間を終わります。ありがとうございました。

幹事報告 下里幹事

例会変更

大和、茅ヶ崎中央、各RC

週報受理

寒河江 RC

その他受理

●ガバナー事務所

～8月のロータリーレート {1ドル=162円} (7月:162円)

●寒川町

～第42回寒川町産業まつり開催案内 {実施日:11/15(日)
10:00～14:00 於:さむかわ中央公園他 出店者
会議:10/1(木)10:00～ 於:寒川町役場東分庁舎2
階会議室}

●公益財団法人米山梅吉記念館

～賛助会入会依頼並びに秋季例祭開催案内 {9/19(土)
14:00～ 於:米山梅吉記念館ホール}

回覧

○茅ヶ崎ロータリークラブより、創立65周年記念誌、
2025-26年度IM報告書

○特定非営利法人 AMDA 社会開発機構年次報告書
2025

○米山梅吉記念館 館報秋号

出席報告 井上稔クラブ管理運営委員

委員会報告

親睦活動委員会 眞原副委員長

親睦委員会より報告いたします。前回の例会にてアナ
ウンスさせていただいた9月12日の親睦移動例会の時
間が変更になりました。点鐘が10時から15時に変更
になっておりますので、回覧の方お目通しいたできてよ
ろしくお願いします。なお、中野会長よりいいお肉を協
賛いただけるとのことですので、皆さんの出席をよろし
くお願いいたします。

地区出向者報告

なし

同好会報告

なし

第2365回スマイルボックス

中村靖クラブ管理運営委員長

合計46,000円

◎田中賢三パストガバナー (茅ヶ崎RC)

皆さま、大変お世話になっており、誠にありがとうござ
います。本日はまたよろしくお願いいたします。

◎中野会長・下里幹事

田中PG、本日はよろしくお願いいたします。

◎高波会員

8月1日から9日までメキシコに居る娘のところへ行って
きました。同棲中の彼氏の両親とも会い、順調にいけば
来春には一緒になるようです。また、8/2 息子、8/14 娘
がそれぞれ誕生日でした。良い事続きなのでまとめてス
マイルします。

◎井上晋一会員

田中賢三PG、本日は卓話よろしくお願いいたします。

◎小澤会員

田中PG、本日は卓話をお受けいただき、ありがとうござ
います。川柳含め楽しみにしておりました。どうぞよろ
しくお願いいたします。

◎鈴木郁男会員

田中様、卓話期待しています。

◎眞原会員

田中PG、ようこそお越しくださいました。本日の卓話、
よろしくお願いいたします。

◎村松会員

先月になりますが、お誕生日のプレゼントありがとうござ
いました。

◎青木、石腰、石塚、石丸、磯川、井上(稔)、内野、遠藤、
加藤、金子、菊地、島村、清水、中村(靖)、帆刈、三澤、三
留、山本(和)、各会員

※令和8年熊本地震支援金として本日募金いただきま
した7,000円と奉仕会計予備費より33,000円を合わせ
て、第2780地区ガバナー事務所に送金いたします

卓話:田中賢三パストガバナー (茅ヶ崎RC)

【Enjoy Rotary 幸せの条件】ロータリーはESSF
ロータリーの素晴らしさと魅力

二度とない人世だからロータリー

皆様こんばんは。今日はお招きいただきまして誠にあ
りがとうございます。僕自身はもう寒川人ですから皆さ
んとお仲間です。よそへ来た感じがしません。ぜひよろ
しくお願いいたします。今日お持ちした資料はふじさわ
湘南RC2019-20年度会長の寺田さん他みんなで監修

したものだと思いますが、ロータリー草創期の話で非常にいいものですから、僕もポケットマネーでだいぶ買わせてもらって、ゆかりのある方々にお配りしているところですよ。このタイトル「Dawn of Nobility: ドーン・オブ・ノビリティ」は、皆さんの誇り高き道への夜明けというふうに僕は解釈しています。ポール・ハリスは「寛容」という言葉を言っていますが、今のロータリーの中核的価値観で「寛容」を記載されているところはどこもないんですね。だけどこの冊子にはきちっと「寛容」というくだりも書いてあります。僕はロータリーの中心的な理念の中では「寛容」が一番いい言葉なのかなと思っています。それから資料その2のこのハガキは寒川RCのために作ってまいりました。絵の方は当時僕が訪ねたポール・ハリスの家を僕が油絵で描きました。ご家族で住んだ家がRI本部のあるエバンストンから車で10分ぐらいのカムリーバンクというところにあります。これはポール・ハリスの奥さんがイギリス出身の方なので自分の故郷のイギリスの地名をとって、自分で勝手にカムリーバンクの家と言っているだけの話ですが、シカゴRCが管理しています。そこで僕はバッジをもらってきましたけど、訪問者の寄付金で成り立っているんです。帰国してから写真を油絵にして記念に描いています。ハガキの裏は寒川RCってこんなカラーだなと僕の想像で描きました。ロータリーはESSと僕は最初言っていたんですが、この頃つくづく感じるんです。ロータリーはESSFだなと。僕の入会は平成元年なんですよ。平成元年の国際ロータリー会長が「Enjoy Rotary」という標語を使っていたんですよ。で、僕はそれを大切にしながらずっと言い続けてきた。そしたら、ロータリーはESSだっていう方がいらっちゃって、まあその通りだなということで、集約してしまえばここに書いてあるEnjoy、Service、StudyでESS。エンジョイというのは上質な社交、レベルの高い先輩と仲間たち、素晴らしい友情。これで、エンジョイしなきゃいけないね。それからサービスというのは、常に奉仕の理念と職業スキルとが相まって奉仕を実践することができるということ。これを高めていかなきゃいけないね。それからスタディ、人生哲学、倫理、職業倫理、寛容なんていうことを学んで自分も向上して社会も向上しようよ。こういう風にESSで最初はくくっていたんです。ところが僕が少し英文のロータリーの手続要覧と比較してみるとenjoyという言葉は何もないんですよ。奉仕じゃなくて親睦って言っていますよね。親睦という英語は、なんだか知っていますか？ほとんどの方、ご存知ないと思いますよ。これがその手続要覧の中ではフェロシップなんです。フェロシップというのはこういったESSで向上心を持った人たちの仲間づくりをする、人と人の関係を築くところ、人を築く場所というところがフェロシップなんですよ。ですからフェロシップは日本語に訳した人が親睦と訳しているだけで、皆さ

んは親睦でいろんなことを活動されていらっしゃる。だけど中身はフェロシップなんですよ。同志を集めて奉仕活動をして社会も向上し、自分も向上しようというのがロータリーなんですよ。これが僕はロータリーの本質だなと思って、ここに描いたように大勢の会員がこの理想を持ち上げているという絵を描いたんですよ。自作です。寒川RCのカラーはこれじゃないかというふうにつくづく思うんですよ。この寒川RC、大したものですよ。上質な社交をいつも求めていらっしゃる。それからレベルの高い先輩と仲間たち。そして素晴らしい友情でしょう。日々のスキルは磨いているに決まっているわけでありまして、素晴らしい方々です。ここでは寛容という言葉スタディの中に入れてあります。今日の結論としては、このロータリーに入るための幸せというのは、僕は1に健康、2に職業に邁進すること、3にロータリーとか奉仕活動をしたり、倫理を学んだり、人生哲学を学んだりする学びですよ。その3つが合わさって一生懸命前に進む人生を送った時に幸せが訪れる。これ今日の結論です。幸せの法則。いろいろな学びがありますが、学んでいるだけじゃ幸せになれません。ロータリーを長く続けられるのは何ですか。やっぱり自分がしっかりしていなけりゃ、事業がしっかりしていなけりゃ、ロータリーは長く続けられません。だから「長く居て 人生豊か ロータリー」なんていう川柳も作っちゃいました。もう一つの資料、これは今日は1名だけにお渡ししました。この中のエッセンスで今日は皆さんに見てもらいたいなっていう2ページだけを印刷して配ってもらいました。この資料は地区のホームページに掲載されています。これに職業奉仕を拡大したいという解釈が入っています。要するに英文と比較すると、今まで職業奉仕っていうのは翻訳者のバイアスがかかっていて、その狭い視野でしか進んでないなと思っています。言ってみれば奉仕活動は全て職業奉仕なんです。いわゆる職業スキルを持って奉仕しなさいと言っているわけですよ。職業スキルなんていうのは、皆さんが向上させようと思って持っているじゃないですか。ですから広く解釈して、それをクラブではどういう風に名前をつけようかご自由にやってください。青少年奉仕、クラブ奉仕、社会奉仕、国際奉仕、職業奉仕、すべての名前をどう振り分けるかはクラブの自由ですから、何も規則があるわけではありません。さて、皆さんとお知り合いとは言ってもちょっとだけ自己紹介させてもらいます。僕は戦中派で昭和19年生まれなんです。病気・怪我歴は4つあるんですよ。子どもの頃2階からコンクリートの床に落っこちちゃったんですよ。レントゲンを撮ったら頭の骨がみんなもうジグソーパズルみたいになっちゃって。それで死に損なったんだけど、おかげさまで命は取り留めたっていう幼少期ですよ。だからろくな頭じゃないんですよ。それからここ10年で

心臓血管の狭窄でステントを入れたり、前立腺がんの宣告を受けたり、去年は脳出血ですよ。これはね、救急車で搬送されたんですが、後遺症で忘れっぽくなっちゃいました。「ロータリー 卓話する我も 未熟なり」って言ってね。そんなロータリーの川柳200ぐらい作りましたかね。今日皆さんにこの「Dawn of Nobility: 誇り高き道への夜明け」という本を配りましたが、誇り高き思想を持って行動するというのはどこへ行っても同じ態度で行かなきゃいけないですね。事業をやっても家庭でも社会に出ても奉仕の理念:The ideal of serviceですね。これを日本語に訳したら奉仕の理念です。奉仕の理念って考えたことございますか?これは家庭でも社会でも事業でもどこに行っても、みんなにいいことをしようね。自分にもいいことをしようね。そのいいこととはなんだろうと常に考えて、少しでも気がついたら実践していくという日々の生活態度。これがThe Ideal of Serviceですよ。これを年中考えていると幸せの条件の一つにつながっているわけですよ。だからロータリーはいろいろなこと言っているけれど、「ロータリーの目的」をぜひ読み返してみてください。この「ロータリーの目的」が僕は最高の文章だと思います。自己を律して社会のために役に立って、そういう仲間を作って奉仕活動を一生懸命やって、社会の向上と国際親善に努めましょう。ということなんです。ポール・ハリスそのものなんです。ですから僕はポール・ハリスをロータリーでは最高に尊敬しています。ロータリーの中ではポール・ハリスはやっぱり最高の人ですよ。簡略版をお持ちしたので、会長幹事さんにはよく読んでいただいて、その後皆さんでまた会談をしていただければと思います。さて、うちの会社は大変な古い会社なんです、業界そのものは沈没しかけています。要するに、現在では業界全体で最盛期の数パーセントの営業規模でしかないんです。その中で生き残るというのは大変なことでありまして、うちも131年経つんですが商売替えを模索しながら、新しい仕事はないのか、役に立つ仕事はないのかと年中考えながら経営をしている最中でありまして。創業は1895年なんです。ロータリー創立は1905年。だからうちから10年経ってロータリーが設立されている。ちょうどその時代背景は日露戦争です。日露戦争真っ只中。そんな中で事業を131年も続けるというのはやっぱり運が良かったんですね。運も実力のうちと言いますけど、やっぱり運も良かったんだろうな。良いことをしていると運がついてくるような気がします。私がロータリーに入会したのは平成元年。この頃ロータリーは神奈川県全県一区だったんです。第259地区。今は横浜・川崎が第2590地区になっています。ここも259地区で一緒だったんです。分かれた初代のガバナーは僕の会社と同業の濱田勝彌さんでしたね。それからもう30数年経っちゃいました。そんな中で全県一区だった頃の地区大会に僕は出席

しました。会場は磯子のプリンスホテル。非常にいい眺めでものすごく大きくて立派なホテルでやりました。この地区大会の講演者が千宗室さん、のちの千玄室さんでした。その時のお話の中に仏教の言葉で「無財の七施」という言葉を言われていました。今でも僕は気持ちの中に無財の七施を忘れずに入れています。七施というのは7つの施し。無財というのは罪ということじゃなくて、財宝物の財です。だからお金がかからない7つの施しということで教えてくれたんです。眼施(がんせ:優しい眼差しで人と接すること)、和顔施(わがんせ:いつも和やかに笑顔で接すること)、言辞施(ごんじせ:優しい言葉で人と接すること、言葉は1回出しちゃったらもう取り返しがつきません。1回出した言葉を大切に人に対して優しい言葉をかけてあげなさいということ)、身施(しんせ:自分の身体を使って汗をかいて奉仕すること)、心施(しんせ:他者に対して心配りをする、相手の立場になって同情心を持って喜びを分かち合う、または悲しみを分かち合う)、座位施(ざいせ:自分より立場の弱い人に席や地位を譲ること、床座施(しょうざせ)/房舎施(ぼうしゃせ:雨や風をしのぐ場所を提供すること)。みんなただなんですね。自分が資本なんです。宗室さんも若かったし僕も入会したてだったし、いい地区大会だったなあという気がします。昨年8月に102歳でお亡くなりになりましたが、寒川神社さんにも何度かお見えになっています。最後にお見えになった時、僕も当時の石腰椎宮司さんと一緒に神嶽山神苑でお茶を点じていただいた記憶があります。2、3年前、大和文化創造拠点シリウスでの地区大会に講演者として来られました。あの時101歳だったと思いますが矍鑠とされていて、その時は「ロータリーの居場所」というお話をされました。結論から言えば、「お先にどうぞ」という茶の湯の心がロータリアンとしての責任じゃないかなと話されていました。千玄室さんの話は大阪国際大会でも聞きましたし、ロータリー研究会などでもよくお目にかかってお話もしたりしました。そんなことで僕はロータリーの会合にはほとんど義務的に、または権利的にすべてを出ようと思いました。そうなると昼間出るわけです。事業の中の時間を潰すわけだからやっぱり何らかの役に立たなきゃいけない。経営者というのは行動が全部自分の事業に振り返って、身についていかなきゃいけないだろうというふうには思いつつ、全て出席しました。自慢話じゃないですけど国際大会も18回も行っちゃいましたよ。「ロータリーだ!」ってもう自信を持って行っちゃいました。家族も連れて行っちゃったからね。横須賀の小沢さんは僕がそう言う「俺は35回」って言っていました。ですから、若い会員にとってはやっぱり経営の学び、人生哲学の学び、仲間から受ける刺激、奉仕重点、社会重点、出席するだけで満足など、それぞれの方がいらっしゃるかもしれませんが、その中のどれでもいいから、自分がロータリー

の良さを見つけて、そこに居場所を求めていただければと思いますね。「俺は親睦だけでいい」っていうのもそれはそれで十分機能していくんだなというふうに思っています。2015-16年度僕のがバナー時代、磯川さんにガバナー補佐をやっていただいて、本当に有能な磯川さんでもう助かりました。それから、その時は椎野会長と金子幹事さんでしたよね。地区大会は大磯プリンスホテルと茅ヶ崎文化会館でした。記念講演は元米山奨学生の田中貴恵さんが講演してくれました。大懇親会は茅ヶ崎市体育館を貸し切りにしてもらって。友人に話してみんなが協力してくれたんで屋台まで出ちゃって。そんなんでもう人の神輿で担がれちゃいました。寒川RCさんの話をすると、寒川RCさんは茅ヶ崎RCから分かれて作ったんですよ。これが落合一作さんで、その時の新クラブ設立の特別代表。特別代表で茅ヶ崎クラブから寒川クラブに送られて、6人の会員とともに分派したんです。これは落合さん、堀村さん、これ瀧本宮司さん。下に上原謙って書いてあるでしょう。上原謙がうちのクラブに2年ぐらい在籍したんですね。その3人くらいが写真で見つかったんで、懐かしく振り返っていただければと思います。それから50周年の時は石腰会長で小澤幹事さんでしたね。ここで素晴らしい50周年の記念がありました。今年は中込ガバナー、井上ガバナー補佐にうちのクラブに来ていただいていますね。中野会長・下里幹事さんにお世話になります。で、寒川RCの奉仕活動は地区でもかなり評価が高いんですよ。ですから今、地区財団補助金でもモデルで話してくれないかっていう話が多分来ていると思います。そういう奉仕活動で僕が素晴らしいと思っているのは、さむかわ中央公園の中のロータリーの泉です。それからモニュメントとブロンズ像の事業などもずいぶんお金がかかったろうなと思うくらい素晴らしい事業です。それから子どもたちの教育。補助金の申請が出ているのがこれなんですけれども、本当にモデルとなる奉仕事業をやられて素晴らしいと思います。うちのクラブとで合同例会を企画しているようですね。どうぞよろしくお願ひしたいと思います。残り時間、さっと資料を振り返ってみます。写真を先に見ちゃいますか。これはロータリーのエバンストンの世界本部です。シカゴ郊外。タクシーで空港から30分ぐらいのところですね。これが歴代の会長の写真。それからこれがロータリー会長の椅子なんです、うちの中山君と僕、2人座ってきたんですよ。これが記念館の中です。ロータリー記念館がそのビルの中にあるんですね。「He profits most who serve best」という標語が書かれていますね。これがやっぱり一番いい標語なんでしょうね。これが実物大ポール・ハリス。ポリオについてはもう1階の入り口から全部この装飾で「エンドポリオ」に力を入れてやっています。これもポリオワクチンを打っているブロンズ像です。これはまた別の機会に訪れたバーモント州のポール・ハリ

スが幼少期に育ったところなんですね。幼少期のこの谷間での経験からロータリークラブが生まれたと言っても過言でないと自伝記に書いてありますね。これがその時いたずらで蒸気機関車に乗った駅なんですね。これポール・ハリスが育った家です。これポール・ハリスが通った小学校です。今バーモントロータリークラブの会場になっています。これも行った時絵を描いたんですね。この中ですね。例会の準備の最中でしたね、ポール・ハリスの写真。これが奥さん。これはシカゴ郊外にあるポール・ハリスの分骨した墓です。その記念館ですね。これがさっき絵にしたところですね。まだ工事中だったんですけど、これが内部です。こんな中で例会も行ったし、ロータリーの談義をしたんでしょうね、最初の頃。シカゴの古い町。額がかかっているんですね。ポール・ハリスの家です。はい。これよかったですね。そんなところですけど。これはね。僕が一番ちっちゃいから目立つでしょ。これは財団補助金で少しお金が余った時にまとめてポリオに寄付をしたんです。そしたら世界第3位かなんかで表彰されたんですよ。で、これはビル・ゲイツがこの直前に講演をなさったところに我々も立たせてもらったんですよ。その代わりにずっと国際大会中最初から最後まで出席という、ただ遊んで帰ってきたわけじゃなくて、これはもう名誉ですね。これは国際協議会。サンディエゴだったんですね。一つずつ説明していると時間がないのでかなり中心的事をお話しします。まず1ページ目「二度とない人生だからロータリー」ですよ。ここで言いたいのは。あとは今、簡単にだいたい話したことです。3ページ目が、ポール・ハリスはロータリーの原点でありますよということをお伝えした。その次が4ページ目。これね、He profits most who serves bestのプロフィッツとThe ideal of serviceの意味。さっき説明した通り「奉仕の理念」です。ロータリーの目的はロータリー最高の言葉。それから機会があったら100%を目指すといいよっていう話です。それからロータリーの全体像。これは後ほど資料あと1分で説明します。それから金看板は職業奉仕。僕の自慢はいろいろありますけれども、国際大会18回参加したっていうのも自慢の一つです。それから8ページ目行っちゃいましょう。ここでまとめですね。「ロータリーの目的」を忠実に実践してください。4項目あります。「ロータリーの目的」を読み直してロータリーっていいなという実感を持ってもらえればいいと思います。それからOne profits most who serves best. この profits プロフィッツという意味は、シェルドンという人が作った当時は文字通り「利益」です。経済用語のプロフィッツだけを目的としていましたが、今では奉仕の意味が入っちゃっています。ですから、僕はプロフィッツの代わりにuseful ユースフル：役立つということを入れてもいいし、enjoyを入れてもいいだろうというふうに、この標語は変化する価値があるだろうと思っています。ロータ

リーは=人生=ロータリー、自分と家族の物語を紡ぐ人生への投資である。ここが一つのキーワードですね。僕はロータリーはやっぱり時間と少々のお金の投資だと思っています。人生の投資です。そんなつもりで会費が高いとか寄付が高いなんて思わないで、これがまとめです。次のページで親睦の語源というのは fellowship フェロシップだと書いてあります。10ページ目では川柳を少しだけ書いてありますね。10本ぐらいます。「我以外 皆我が師なり ロータリー」。だけど師には2通りあるんですよ。いい先生と面倒くさい先生。どっちが自分のためになるかって言ったら面倒くさい先生の方が自分の向上につながる。だから面倒くさい人は排除しちゃダメですよ。面倒くさい人ほどためになる。だから面倒くさい人に育てられるんです。それでは最後ですけど、この中の抜粋の今日お配りした2ページですね。この活字でしっかりとした絵の方、これはロータリー大河の系図って僕が作ったんですけども、中央に書いてあるのがポール・ハリスをはじめとしたロータリーの精神文化が縦筋で乗っかっています。それから左側がクラブでも地区でも採用しているロータリーの奉仕活動の基本的な項目です。みんながこのために何かの行動しているということです。右側に書いてあるのが財団とかその他の方のことを書いてあります。書いてあるけども右左分かれているわけじゃなくて一つのロータリーなんです。ですからロータリー本部の中の一つの部下、部隊員、が財団だと思ってください。一つ組織なんです。CEOはジョン・ヒューゴですよ。両方合わせたCEOはジョン・ヒューゴです。だから全く一つの組織なんです。財団は別個なんて考えないで、財団の奉仕活動をみんな奉仕活動と称しているのがRIなんです。クラブはクラブでクラブ奉仕と社会奉仕を重点にやってもらえばいい。そういうふうに思えますね。それからその裏側、これも独自の資料なんですけれども、自分の倫理観とロータリーの倫理観とがどのような仕組みで入っているのかなというのを書いてあります。この丸く囲ってあるのがロータリーで、薄丸で囲った部分は未来に実になる木を表した想像図にしました。カラーで取れば、実が赤や黄色になって葉っぱが緑になったり木が茶色になったりして、下が良樹細根だよ、土台をしっかりしないと木が育たないよということで、下を書いてあるほど基礎的な必要なことです。そんなことで、ロータリーの中身も全部これに書いてあります。あと4つのテスト。それから He profits most who serves best です。一番左の上に田中賢三って書いてありますね。「人生積極万事入魂」。この気持ちで僕はこれからもやってみたいなというふうに思っている次第でございます。ご静聴ありがとうございました。

